

パリ五輪に向けた基本的な考え方

東京五輪を終え、強化を取り巻く環境が変化し転換期を迎えることとなりますが、「2024パリ五輪」に向けた強化委員会の基本的な考え方について以下のとおりお知らせいたします。

なお、本書記載の内容については、重要な業務執行の決定に該当するため、12月の理事会にて審議の上、決定されることとなります。

1. 基本的な考え方

- (1) ギザビエコーチが提唱する強化メソッドを継続し、フィジカル・テクニク・メンタルの強化を深化させ、世界レベルにチャレンジするため、小艇(1x, 2-)のレベルを更に引き上げる。
- (2) 軽量級カテゴリーとしてパリ五輪に唯一残る「男女ダブルスカル」の強化を続けつつ、オープンカテゴリー強化へのシフトを質・量の両面で一層加速する。
- (3) (1)、(2)を実現するため、選手所属団体とのミーティングの実施、各所属団体からのコーチングスタッフ等の強化合宿や海外遠征帯同を推進・実現し、ギザビエコーチが提唱する強化メソッドの浸透及び強化基盤の確立を図る。

2. 目標および重点種目

(1)目標

2023 年世界選手権でパリ五輪の出場枠を獲得し、五輪本大会で Final A に進出、メダル獲得を目指す。

(2)重点種目

軽量級ダブルスカル、オープンシングルスカル、ペアを継続強化する。

但し、パリ五輪以降を見据えたスウィープ種目の強化基盤整備も推進する。

3. 主要な強化戦略

(1) 現行トレーニング・プログラムの継続推進によるフィジカルレベルの一層の向上

- ・フィジカルおよびローイングレベルで世界と戦える選手の基準を明確にする。
(例示:世界と戦えるレベルのエルゴ基準 %IDT/kg 95~97%)
- ・世代別(シニア/U23/ジュニア)に所定の基準を満たす選手母集団(プール)を拡充し、フォローアップと継続強化を推進する。
- ・フィジカルレベルの向上を図るための情報科学・分析を充実させる。

(2) パリ五輪に向けた選択と集中、その後を見据えたオープン・スウィープ種目の強化基盤の整備

- ・Small Boat Selection を毎年3月に継続実施し、ローイングにおける強い「個」を選抜する。
- ・ナショナルチームを A 代表・B 代表に分け、それぞれの強化目標実現に合わせ、海外派遣基準を設定しチームポート強化(母集団の拡充)へ繋げる。

*A 代表・・・オリンピック、アジア大会、世界選手権、ワールドカップ など

B 代表・・・主にアジア選手権

- ・世界のハイレベルレースへの挑戦、またアジアにおけるプレゼンスの維持・向上を実践するため、いずれも海外レース経験の蓄積を図る。
- ・ポテンシャルのあるオープン・スウィープ選手の強化継続システムを構築する。

(3) タレント発掘・育成・強化までの長期パスウェイの実効性あるシステムの確立

- ・全国タレント発掘活動、J-STAR プロジェクト、JOC エリートアカデミー事業、U21 トールタレントプログラムを通じた有望アスリートの発掘の継続と運営体制を充実する。
- ・発掘活動とその後の継続指導・育成の経験の積み重ねにより、シニアにおいても世界で通用する、メダルを狙えるアスリートの標準モデルを確立する。
- ・10年間を目安に現行トレーニング・プログラムをシームレスに継続実施できる環境を整備する。

(4) 所属チームとの連携強化、WIN-WIN となる関係の構築

- ・強化活動(国内合宿や海外遠征)におけるサポートコーチの派遣等、連携を深化させる。
- ・各所属チーム等のサポートコーチが強化活動に直接携わることにより国際レースでの経験知見を広め、強化目標実現に向け各所属チームと一体となったナショナルチームを構築する。
- ・ナショナルチームを支える若手指導者の育成を図る。

(5) PDCA サイクルの定着による漸次成長と計画的・安定的な強化活動の推進

- ・毎年、合理的な目標設定と成果を確認することにより、選手=コーチ陣=強化マネジメントチームが三位一体となり着実な進歩を図る。
- ・選手およびナショナルチームの成長について、見える化を推進する。

以 上